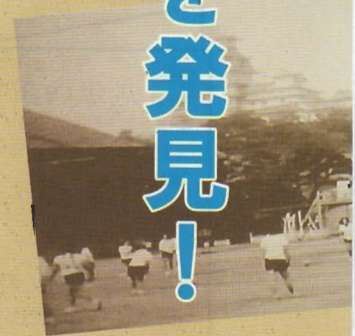


感涙!

青春の日々が
動く映像で

半世紀前のお宝フィルムを発見!

DVD化
各期同窓会での活用を

このほど東生会館の資料室から、昭和37年〜57年に撮影された数多くの8ミリ、16ミリフィルムが見つかりました。

そこには、新制なつてまだ間もない頃の母校と躍進の時代に青春を謳歌する当時の生徒たちの生き生きとしたありさまが動く映像で蘇ります。

私が在学の頃、映画演劇部が映画制作の活動をしていました。数学の井上正利先生や地学の赤木弘先生の指導で、映劇部と放送部が編集・音入れに当たり、その後島村先生が引き継がれたと聞きました。

東高創立百周年の今年、私たち20回生が還暦を迎

えることから「還暦記念同窓会」を正月に企画。この中で「当時のフィルムがある筈だ。探し出してみんなで見てみたい。」ということになり、井上恒先生立ち会いで東生会館を探したところ、資料室から何と二十数本の8ミリ、16ミリフィルムが保管されているのを見つけました。中にはラベルが剥がれて撮影時期さえわからないものもあります。取り敢えず私たちが入学した昭和40年のフィルムをDVDに変換してもらい上映してみました。

書写山の歓迎遠足や体育祭、第1回東西対校戦の模様などが映し出されました。陸軍時代からの古い木造校舎や姫路測候所の観測塔、さらには昭和の大改修を終えた純白の姫路城。まだ童顔の同級生の顔、顔。既に鬼籍に入られた恩師や同級生の顔も見られます。そこには紛れもなく私たちの青春がありました。還暦記念同窓会において大喝采を浴びたことは言うに及びません。

同じく今春同窓会を開催した23回生がこの話に同調して、昭和44年撮影のフィルムをDVD化、複製して参加者に配ったそうです。皆さん、家でこの映像を見てどんな感慨に耽ったのでしょうか。さて、こうなると他のフィルムも見てみたくなるのが人情。時あたかも、母校は創立百周年記念事業を展開している。この事業の中で「東高映像アーカイブス」として、DVD化してみんなに活用してもらったらどうだろう。いや、今この機を逃せば、恐らくは未来永劫発掘されることのない「埋蔵文化財」になってしま

うのではないかな。そんな訳で井上恒先生の尽力でフィルムを整理、15本にまとめてDVD化してもらいました。

昭和37年、当時まだ珍しかった学校プールが最新の設備を備えて完成、先生も生徒もそのはしゃぎようは大変なもの。栃原高原のキャンプ、九州の修学旅行、体育祭でのフォークダンス、騎馬戦、応援合戦、母校伝統のアジア体操。西高校での東西対校戦、東高創立60周年記念行事に集われた県立女学校時代の諸先輩。信州の修学旅行での初めて触れた白銀のスキー教室と夜のスタンツ大会など。そこにはそれぞれの青春があります。

中には講演をする初井しづ枝さんや桐山宗吉さんの姿もみられます。

校舎は陸軍時代の木造校舎から現在の鉄筋校舎へと変貌していきます。学校から見る姫路城は、昭和の大修理で黒い覆いがかけられた姿から、修理なつて純白に輝く姿へとその衣を替えていきます。

ここに、DVD化した15本のリストを掲げます。関係各期の同窓会などで活用されてはいいかがでしょうか。お薦めします。

ただ、私が見ただけでは、いつのものかわからない映像が多いので、関係する回生が違っているかもしれません。ご容赦ください。

視聴ご希望の方は東生会事務局へお問い合わせください。

(20回生 福井孝幹)